

令和3年度

理科

| | | | | | | | |
|-------|-----------------------------|----|---------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 理科 | 科目 | 科学と人間生活 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
| 使用教科書 | 「科学と人間生活 くらしの中のサイエンス」(数研出版) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1. 担当者からのメッセージ(学習方法等)

この科目では、人間生活を支えている科学技術や人間生活とかかわる自然現象について学ぶ。
興味をもって知識を深め、「見る」世界を広げよう。

2. 学習の到達目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

3. 学習評価(評価基準と評価方法)

| 観点 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 観察・実験の技能 | 知識・理解 |
|-----------------------|---|--|--|--|
| 観 点 の 趣 旨 | 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。 | 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見だし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 | 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。 | 自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について観察、実験などを通して理解し、知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | 授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査 | 授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査 | 授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査 | 授業中の取り組みの様子 提出物 定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---------------|----------|--------------------|---------|---|---|---|--|-------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 学期 前半 | 生命の科学 | 1.生物と光 | ○ | ○ | | ○ | a:植物の生育と光のかかわりについて関心をもつ。 b:植物の光合成と呼吸について考察し、化学式や図で表すことができる。 c: d:植物の光合成と呼吸のしくみや光のはたらきについて理解している。 | 提出物 定期考査 |
| 1 学期 後半 | 物質の科学 | 2.衣料材料や食品の科学 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:五大栄養素が体内でどのような働きをしているかに関心をもつ。 b:高分子を形成する「縮重合」「付加重合」が理解できる。 c:糖類・タンパク質の性質を実験で確認することができる。 d:単糖類や必須アミノ酸を化学式で書ける。 | 提出物 定期考査 |
| 2 学期 前半 | 光や熱の科学 | 1.波の性質 2.電磁波 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:波の性質と伝わり方について興味をもつ。 b:波の公式を使って、様々な量を求めることができる。 c:光の性質を実験で確かめることができる。 d:光の特徴を生かして人間生活に利用されていることを理解している。 | 提出物 定期考査 |
| 2 学期 後半 | | 1.熱の性質 2.熱エネルギー | ○ | ○ | ○ | ○ | a:熱の性質と伝わり方について興味をもつ。 b:熱量の公式を使って、様々な量を求めることができる。 c:熱の性質を実験で確かめることができる。 d:熱の特徴を生かして人間生活に利用されていることを理解している。 | 提出物 定期考査 |
| 3 学期 | 宇宙や地球の科学 | 1.太陽系 2.自然災害 | ○ | ○ | | ○ | a:地球を取り巻く環境について興味をもつ。 b:今後の地球環境について、自分の意見を表現できる。 c: d:地学における基本的な概念や原理・法則を理解している。 | 提出物 定期考査 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。